

ContactXML部会 2002年度活動方針

May/20/2002

XMLコンソーシアム ContactXML部会

部会リーダー 吉政忠志

インフォテリア 江島健太郎

クレオ 押尾孝浩

Contents

- 
1. ContactXML部会のご紹介
 2. ContactXML部会2002年度活動方針
 3. ContactXMLのご紹介
 4. ContactXML APIのご紹介

1 . ContactXML部会のご紹介

XMLコンソーシアム ContactXML部会
リーダー
吉政 忠志

ContactXML部会設立の意義

日本で開発され、制定されたContactXMLは、その普及のために、公正かつ適切にその仕様が維持・運営され、普及促進されなければなりません。



ContactXMLの次バージョンの開発・制定を公正に審議し、コンタクト情報を梃子にXMLの更なる普及に努めるべくContactXML部会を設立しました。

ContactXML部会とは(1)

- 目的

- ・ ContactXML仕様に関する開発・制定・情報公開・情報交換等の活動を通じContactXML仕様の普及・啓蒙活動を行う
- ・ ContactXML仕様を活用したビジネスへのマーケティングによる後方支援を行う

ContactXML部会とは(2)

- 活動内容

- ・ContactXML仕様の開発・制定・標準化
- ・ContactXMLの適用研究・事例収集
- ・ContactXML仕様に関する情報の収集、交換ならびに提供を行う場としての部会運営
- ・HR-XMLなど、国内外の他コンソーシアムとの連携協力
- ・その他、ContactXML仕様の普及・啓蒙活動全般

ContactXML部会とは(3)

- 参加資格

本会の会員はContactXML仕様の普及を推進するという目的のもとに、XMLビジネスに関わり、かつXMLコンソーシアムに加入している有志法人もしくは団体とする。

ContactXML部会 (4)

- 部会設立起案会社

イーブリッジ

インフォテリア

クレオ



ContactXML部会(5)

- リーダー
吉政忠志 (インフォテリア)
- サブリーダー
小笠原徳夫 (クレオ)
竹村直浩 (エニイ)

昨年度実績(1)

2001/12/12

:イーブリッジ、インフォテリア、クレオ3社にてContactXML.org発足

2002/1/24

研究会 : 第一回研究会開催

- ・ContactXML Ver.1.0解説(インフォテリア)
- ・ContactXMLを活用した次世代サービス(クレオ)
- ・ContactXMLを活用したデータクレンジングおよび
エンハンスメント(エニイ)

詳細は > <http://www.contactxml.org/wg.html>



2002/1/29

:XMLコンソーシアムにて正式に部会に承認される

昨年度実績(2)

< 報道発表 >

- 2001/12/12
 - イーブリッジ、インフォテリア、クレオの3社がコンタクト情報の記述・交換の標準仕様「ContactXML」を開発
- 2002/01/24
 - エニイ、インフォテリアの技術協力のもと「ContactXML」対応のデータ変換サービスをスタート
- 2002/04/02
 - 宛名書きソフト「宛名職人」、「筆王」、「筆ぐるめ」、「筆まめ」、およびアドレス変換ソフト「アドレスステーション」が業界標準のフォーマットとして「ContactXML」を採用

2 . ContactXML部会2002年度活動方針

XMLコンソーシアム ContactXML部会
リーダー
吉政 忠志

活動方針

● 方針

- ・ContactXML仕様のさらなるブラッシュアップ
- ・ContactXML実装例を増やし、普及に努める
- ・HR-XML等の関連他団体との協調に務め、相互普及に努める



ContactXMLをコンタクト情報の標準XML仕様としての位置付けを高める

懸念事項

● 懸念事項

- ・HR-XMLのような、一見するとContactXMLに類似しているようにとられる仕様が增える可能性がある



相互にマッピングできるように、関連団体との情報共有を強化すべき

年間活動スケジュール

- 2002/X ContactXML Ver.1.1勧告案申請
 ContactXML Ver.1.1発表
- 2002/X ContactXML API追加開発
 HR-XMLとの協業
 国際郵便連合の住所情報の標準化活動
 との連動

その他、通常部会活動(情報交換・次バージョン勧告案の策定)

3 . 「ContactXML」のご紹介

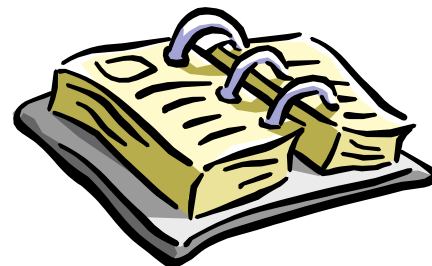
インフォテリア株式会社
営業本部営業推進部
エバンジェリスト
江島健太郎

ContactXMLとは

- 連絡先記述に必要な情報を、標準的に扱うためのXMLボキャブラリ
 - 氏名
 - 所在地
 - 職業
 - 電話番号
 - メールアドレス
 - etc.
- XMLコンソーシアムContactXML部会によってメンテナンスされます
 - ContactXMLの利用については完全にロイヤリティーフリーです
- <http://www.contactxml.org/>

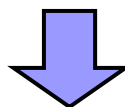
ContactXMLの用途

- 「筆まめ」などの宛名管理(年賀状)ソフトのフォーマットとして
 - 名刺データの名寄せ、一元化および共有
 - イベントやセミナーでの参加者のプロフィール収集に
 - eコマースサイトでの個人情報提供手続きの簡略化
 - 医療、保険などの申請手続きの簡略化
 - 合併・分社などにおける動的的人事管理
-
- **コンタクト情報の一元化を実現！**



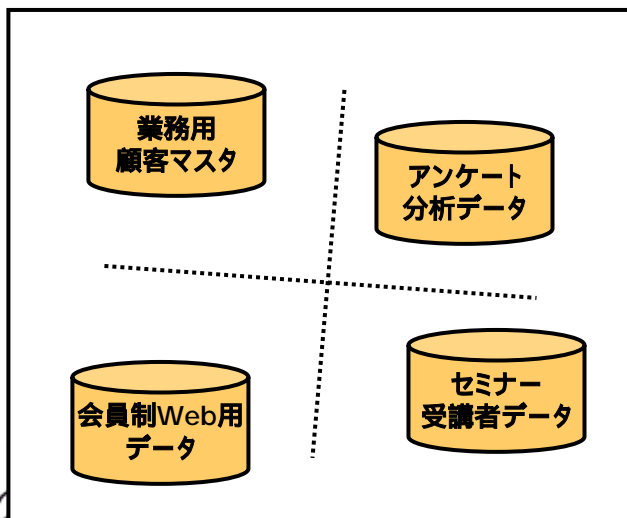
ContactXML登場の背景

- 顧客接点の多様化
- プロジェクト単位・イベント単位にアドホックに定義され、入力される顧客データ
- 質的に均一でなく曖昧で、活用されない(できない)顧客情報

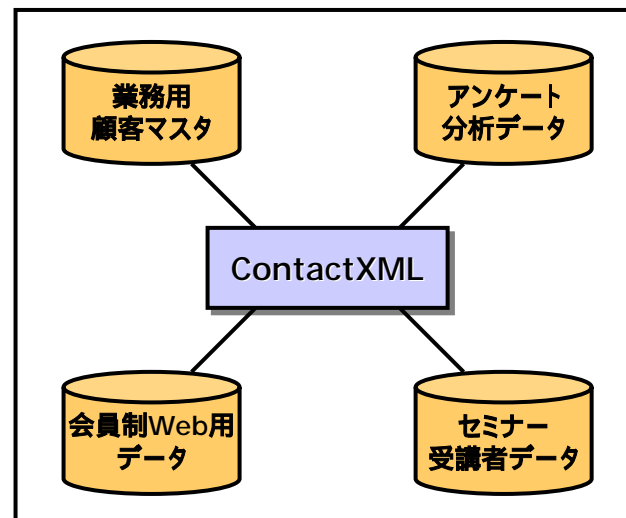


コンタクト情報の標準的な定義が必要！

バラバラに定義され入力される顧客データ



相互に交換・再利用可能な活きたデータへ

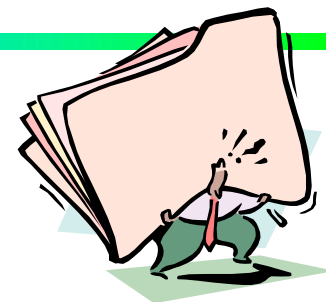


ContactXML仕様の現況

- 2001年12月12日にバージョン1.0をリリース
 - ビジネス・コンタクト情報として必要なデータの項目整理と意味定義に主眼を置いて開発
 - 1ファイル1個人
- 2002年6月にバージョン1.1リリース予定
 - 1ファイル複数個人への対応
 - 住所フィールドのコード体系追加
 - 個人識別用IDのフィールドを設置
 - 人名・地名の文字種の取扱いについてのガイドライン
 - 意味定義のより詳細な明確化
- その後のリリース予定
 - 転送プロトコルバインディング(HTTP, SMTP, etc.)
 - セキュリティモデル

ContactXML仕様のポリシー

- 20 : 80の法則を厳守
 - 難しい仕様は理解されない、使われない、普及しない
- 適度に小さい粒度のデータ分解能を提供する
 - なるべく元データの情報量を損なわずにContactXMLにマッピングできるように
- 実ビジネスの課題解決にフォーカス
 - 将来用途よりも現在用途を重視し、定番ソリューションの発掘こそを命題とする
- しっかりとした意味定義を行う
 - わかりやすい説明で、あらゆる実装者にとって誤解のない仕様を目指す
 - 正規化可能なデータは、正規化のための手法を用いる
 - 言語・国複合コード(IETF RFC1766, xml:lang属性)
 - 国コード(ISO 3166)
 - 所在地コード(JISコード、加除コード、国土地理コードなど)



ContactXML活用の重要なポイント

- 入力時点でのクリアリング
 - 入力時点で精度の低い情報は、それ以上の改善は難しい
 - 従って、入力を支援する仕組み・アプリケーションに工夫が必要
 - コード化の推進によって文字列と実体のマッピングを確実なものへ
- プライバシー
 - 個人の情報が流通してしまうというイメージの問題
 - 個々人に対して割り当てるIDをどう扱うか
 - 免許証番号
 - パスポート番号
 - もう少し匿名性の高い識別子を利用できないか？



ContactXML v1.0 サンプル

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
- <ContactXML xmlns="http://www.xmlns.org/2001/ContactXML" version="1.0"
  creator="http://www.foo.com/bar/meishi-app/1.0">
- <PersonName>
  - <PersonNameItem xml:lang="ja-JP">
    <FullName pronunciation="ヤマダ タロウ">山田 太郎</FullName>
    <FirstName pronunciation="タロウ">太郎</FirstName>
    <LastName pronunciation="ヤマダ">山田</LastName>
  </PersonNameItem>
</PersonName>
- <Address>
  - <AddressItem locationType="Office" xml:lang="ja-JP">
    <Country countryCode="JP">日本</Country>
    <Zip>123-4567</Zip>
    <AddressLine addressLineType="StateOrPrefecture">東京都</AddressLine>
    <AddressLine addressLineType="City">品川区</AddressLine>
    <AddressLine addressLineType="Town">大井町</AddressLine>
    <AddressLine addressLineType="Number">1-2-3</AddressLine>
    <AddressLine addressLineType="Building">NTビル</AddressLine>
    <AddressLine addressLineType="FloorOrRoom">10F</AddressLine>
  </AddressItem>
</Address>
- <Occupation>
  - <OccupationItem xml:lang="ja-JP">
    <OrganizationName>ABCソフト株式会社</OrganizationName>
    <Department>マーケティング部プロモーション課</Department>
    <JobTitle>係長</JobTitle>
  </OccupationItem>
</Occupation>
- <Phone>
  <PhoneItem phoneDevice="Phone" usage="Official">+81-3-1234-5678</PhoneItem>
  <PhoneItem phoneDevice="Cellular" usage="Private">090-8765-4321</PhoneItem>
</Phone>
- <Email>
  <EmailItem emailDevice="PC" usage="Official">aabbcc@abcd.com</EmailItem>

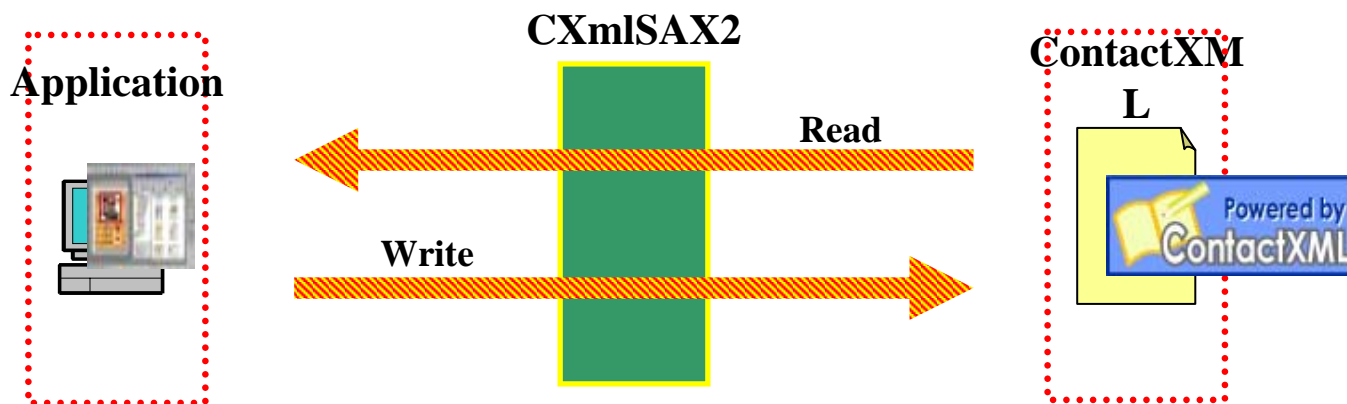
```


3 . ContactXML APIご紹介

株式会社クレオ
ミドルウェア事業部 IT推進部
ITエキスパート システムアーキテクト
押尾 孝浩

ContactXML API (CXmlSAX2)

- アプリケーションから簡単に ContactXML ファイルにアクセスできるようにするための API。ContactXML の仕様および、SAX や DOM 等の I/F を意識することなくアプリケーションから ContactXML のファイルに Read/Write できる。
- 元々は、ContactXML.org 向けにクレオで作ったオープンソースの API であるが、実際には保守/メンテの問題があるため、現在のところ、公開には踏み切っていない。



ContactXML API (CXmlSAX2)

特徴:

ContactXML の I/O を実装する必要性のあるアプリケーションコードから「ContactXML 1.0 仕様」で定義されたさまざまなルールを高度なレベルで隠蔽する。内部的に SAX2 I/F を使用するため、高速かつ少ないメモリで動作可能。

現在、Java 用 API、C++ 用 API (Windows / Linux ...etc) が存在する。

機能:

- ・ContactXML ファイルの read。
ContactXML 1.0 ファイル -> アプリケーション側のデータ構造
- ・ContactXML ファイルの write。
アプリケーション側のデータ構造 -> ContactXML 1.0 ファイル

ContactXML API (CXmlSAX2)

Java 用 API:

Java アプリケーション用の ContactXML API。

- ・ **cxmlsax2.jar**

- SAX2 パーサーには「Sun Microsystems」の「Java XML Pack」を使用。
- JDK は 1.3.1 ベースを使用。

C++ 用 API:

C++ アプリケーション用の ContactXML API。

- ・ **cxmlsax2.lib (Windows)**

- ・ **cxmlsax2.so (Linux)**

- SAX2 パーサーには「Apache Software Foundation」の「Xerces」を使用。
- 現状は .lib、.dll での提供も可能 (Windows 版)。

ご質問は「ContactXML部会メーリングリスト」及び
wg-contact@xmlconsortium.orgまでいただければ
回答させていただきます。

XMLコンソーシアム ContactXML部会

連絡先: 吉政 忠志

メール: wg-contact@xmlconsortium.org

Web: <http://www.contactxml.org/>

(現在XMLコンソーシアムのWebサイトに移行中)

住所: 東京都品川区大井1-47-1 NTビル10F

電話: (直通)03-5718-1660 (FAX)03-5718-1261